

一 般 質 問

令和 5 年第 2 回定例会(6 月 15・16 日)

質 問 者	内 容	答 弁 を 求 め る
高山 豊彦	1. (仮称) 犬打峠トンネル開通を見据えたまちづくりを問う (1) 第 5 次総合計画にはトンネル開通に伴う、府道 5 号線等の整備計画は。 (2) まちづくりを進める上で農業振興地域の再検討が必要になると思うが、その考えは。 (3) 2019 年 12 月議会の一般質問で町営住宅の入居条件について、「何等かの対応を考えていかなければならない」との担当課長の答弁をいただいているが、その後の検討結果は。 (4) 空家バンクの登録状況及び移住希望者の状況は。 2. 高齢者のゴミ収集支援の在り方を問う (1) 木津川市等では「ふれあい収集制度」による支援を実施されているが、本町の対応と支援の考えは。	町長 建設事業課長 農村振興課長 地域力推進課長 町長 農村振興課長 福祉課長
村山 一彦	1. シルバー人材センターについて (1) 未来づくりセンターで設置を検討と聞いているが、どのような形態を考えているのか。 (2) 今、アンケートを取りまとめていると聞いているが、何のアンケートか。 (3) 草刈り等住民ニーズは十分にある。ニーズを汲み上げるのは行政の仕事では。 2. 川の駅構想について (1) 護岸工事の進捗状況は。 (2) 上面の活用のための青写真はできているのか。 3. トンネル開通後のまちづくりについて (1) 町としての方針を出さないのか。 (2) 府道木津信楽線の拡幅の要望は出しているのか。 (3) 木屋峠の改良について要望は出しているのか。	町長 町長 建設事業課長 町長
井上武津男	1. 地方創生において連合の役割 (1) 和束町において、3 町村連合の意義・意味・今後の方向性を具体的に示して下さい。	町長 総務課地方創生担当課長

	(2) 和東・笠置・南山城村の3町村連合は、他府県に先がけて行われたもので、今後、我々の成功例は、人口減少の結果、必然的に、日本全国に広まる可能性があると思いますが、この事（連合）が、今現在、成功に期しているでしょうか。 (3) 他府県から、和東へ、この事（連合）の感心を実習されてきた町・村はあるのでしょうか。 2. 「茶源郷和東」を世界に広げるために (1) 産地証明はどの様にしてなされるのか。 「和東」独自の産地証明は出せないのか。 出せないとすれば、どの様な理由によるものか。 (2) 「イスラム社会」への進出を試みるために「ハラール認証」取得については、どの様に考えられているか。 3. 観光について (1) 和東町において、コロナ後のインバウンド観光が徐々に増加してきております。京都市内だけでなく、府としては、市外観光を奨励されていると聞いておりますが、府は、和東において、どの様な方策を示しておられるのか。 (2) 日本旅行での、インバウンド客の1番の目的は「食」とであるとされてます。風景だけでなく、和東において、特に土・日での、レストランや和食店が不足している現状をこの先、「おもてなし」の観点からどの様に解消されようとしておられるのか。 (3) 将来において、茶工場の見学観光の見通しは。	農村振興課長 町長 地域力推進課長
山本 達也	1. 和東町の町外への重要なアピールポイントについて (1) 移住者の私が和東に引っ越してきて素晴らしいと思ったのは、初めて会った人、特に小学生から「こんにちは」と挨拶されたことなど人の繋がりを感じられたこと、普通の平凡な田舎町にはないダントツの主要産業、「お茶」という確固たる主要産業がある事、地理的に近畿の中心に位置し、田舎の風情を残しながらも都市に近いことです。 これらのアピールポイント以外に重要なアピールポイントを1つ教えていただきたい。 2. アピールポイントを活かすための足下の課題解決について (1) 人口減少や流出問題における現在実行中の対策および現状の転入転出の比率と対策後の目標転入転出の比率とその達成時期は。 (2) 空き家を減少させる現在実行中の対策および現在の空き家軒数と目標の減少軒数とその達成時期は。 (3) 耕作放棄地の減少に向けた取り組みで農地の再利用	町長 町長 地域力推進課長 農村振興課長

	や農地ではない別用地として町が主に行う具体策はあるか。 (4) 昨年よりも今年は援農者の不足を聞く事が多かったが、援農者がもっと来たくなる、働きたくなるような具体的な取り組みを町として実行しているか。 (5) 農家さんの高齢化や後継ぎ問題に関して現在実施している具体策は何か。 (6) 公共交通機関の縮小問題に関して、WazCar 導入以後の町民の毎月の利用回数および利用目的別に行き先も示してほしい。 また観光客の利用においてルートや行き先のベスト10を聞きたい。 加えて WazCar 導入以後の奈良交通路線バスの毎月の乗車数実績を示してほしい。	農村振興課長 農村振興課長 総務課地方創生担当課長
岡本 正意	1. 物価高騰対策の強化を (1) 6月議会での対策強化の内容は。 (2) 水道料金の負担軽減、料金見直しを。 ①基本料金減免の再実施を直ちに。 ②最低でも基本水量を元に戻す等の見直しで引き下げを。 2. 「保険証廃止」への町の認識、対応について (1) 深刻なトラブルを放置したまま保険証を廃止する法律が强行されたが、住民の命と健康を守る行政、保険者として危惧はないのか。廃止中止を求めるべきではないか。 (2) 廃止した場合に想定される問題点は何か。 (3) 仮に廃止が実施されても、町の判断で資格確認書を全被保険者に交付を。 3. 「WazCar」の方向性・運行改善について (1) 実証運行の期限は。本格運行に移行する基準はあるのか。 (2) 当面の改善点について。 ①湯船地区での事業内容の再度の説明、丁寧な意見聴取の実施を。 ②「ドアツードア」方式の導入を、最低でも停留所位置の改善を。 ③料金の引き下げを。 4. 河川、生活道路の環境整備について (1) 和束川支流内の雑草刈り、浚渫等の適切な実施を。 (2) 町道白栖撰原線の舗装改修、雑木整備等の環境整備を。	町長 町長 町長 総務課地方創生担当課長 町長 建設事業課長

小西 啓	1. 固定資産税と水道使用料金について質問いたします (1) 固定資産税の標準税率は、百分の1.4ですが、本町ではいつから、どうして、本年度まで、何年間、百分の1.5ですか。 南山城村、笠置町、井手町は、何年度から超過税率を適用され、何年度から超過税から標準税率に変更し住民負担を軽減されましたか。 (2) 次に、水道使用料金について質問いたします。4月、5月分の水道予定料金お知らせを、住民の多くの方方がみて、水道使用料金が大幅値上げに、おどろいておられます。町長は住民のみなさんの声を聞いておられますか。 (3) 超過税率100分の1.5で、標準税率100分の1.4で、プラス0.1で年間どれだけ増収ですか。 (4) プラス0.1での増収分は、住民のみなさま方にどの様に還元されていますか。 (5) 水道使用料金値上で、値上前よりどの位い月単価で、使用料収入が増えていますか。	町長 町長 税住民課長 会計管理者 建設事業課長
------	---	---